

戦略会議・会議録概要

- I、日 時 令和3年1月25日(月) 午前10時15分～10時45分
- II、場 所 委員会室
- III、出席者 戦略会議構成員(市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、理事、戦略企画部長、政策推進部長、総務部長、街づくり部長、戦略企画室長)
- ※同席:戦略企画室課長、戦略企画室主査
- IV、概 要 第5次大東市総合計画及び第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- V、内 容 第5次大東市総合計画及び第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

(1) 主な意見

【副市長】

- 本日は第5次大東市総合計画及び第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、審議を行う。まず、市長よりご挨拶いただく。

【市長】

- 総合計画・総合戦略は市の歩むべき道、方向性を示すもので、市の根幹、背骨となるものである。
- 総合計画・総合戦略の改訂によって、そのような意識を共有し、一丸となって団結を図る契機としたい。

【副市長】

- 本日は、「大東市総合計画」及び「大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂について審議を行う。
- 総合計画・総合戦略は、昨年度から改訂作業をスタートさせ、これまで庁内策定委員会、審議会、パブリックコメント等を行い、検討を進めてきた。
- これらの意見を踏まえ、この度、策定委員会において、改定案がかたまったことから、策定委員会委員長である私から市長に建議し、戦略会議にて決定するものである。

- それでは、戦略企画部より説明をお願いします。

【戦略企画部長⇒戦略企画課長】

《配布資料に沿って説明》

【副市長】

- ただいま説明のあった改訂案について、質問・意見等はないか。

【戦略企画部総括次長】

- 非常に魂のこもった計画になったと思う。
- 策定の過程では、とても多くのご意見・ご指摘をいただいた。
- 今後、検証とPRが重要になっていくと思う。
- 全庁を挙げて取り組んでいくことが重要である。

【街づくり部長】

- 今後5年間の方向性を示したものであり、コロナ禍の中での策定で難しさもあったと思う。
- 総合計画・総合戦略は、市民の方を向き、アンテナを高く持ち、方向性を見失うことなく取り組んでいくための土台の部分を担当していると思う。
- その土台を踏まえて、分野別計画に落とし込んでいく必要がある。
- また、総合計画・総合戦略を全庁に共有していくことが重要である。

【総務部長】

- 総合計画と総合戦略を一体的に改訂したことで、市の方針が一本化された。
- 策定委員会における様々な意見を吸い上げていただいたと思う。
- また、「幸せデザイン大東」というタイトルは、市長の想いを反映させたものである。
- 他市と比べても現実的で本市がめざす方向性が見えるものであり、内容的にも分かりやすい。
- 今後は、各部課長が理解して、団結して取り組んでいくことが重要であり、この5年間の中で状況が変われば、柔軟にアップデートできるようなものにしてほしい。

【政策推進部長】

- 平成27年に総合戦略を策定したことにより、そちらに重点が置かれ、総合計画が希薄化してしまったような印象を持っていた。
- 今回、総合計画・総合戦略を一体的に改訂したということで、背骨になる部分ができたとする。
- 「幸せデザイン大東」を政策を決定する際の判断基準として、すべての職員に浸透させていくことが重要である。

【理事】

- 「幸せデザイン大東」の名は、すべての市民に幸せを感じてもらおうという趣旨だと思ふ。このことは、SDGsの「誰一人取り残さない」という理念にも通じるものがある。
- 行政のデジタル化はあくまで手段であり、サービスの受け取り側の満足を高めていくことが重要である。
- PRについては、これまでとは違った発想で行っていくことも重要である。

【上下水道管理者】

- 新型コロナウイルス感染症の拡大も踏まえた内容になっている。
- 今後5年間、ベクトルを合わせて団結して取り組み、市民の皆様に幸せを感じていただけるようにしたい。

【教育長】

- 策定のプロセスの中で、いろいろな議論ができたことが経験としてプラスになった。このことに気概を持って、すべての分野で絵に描いた餅とにならないようにしていくことが重要である。
- ここがスタート地点であり、作って終わりにしてはいけない。

【戦略企画部長】

- これまでの策定過程の中で印象に残っているのは、庁内策定委員会において基礎自治体としての基本的な役割について記載すべきという意見が多かったこと、審議会においては教育に関する意見が多かったことである。
- 一人ひとりの幸せの実現というフレーズに対して、どのようにそれを伝え、文章に

していくかがとても難しく、楽しかった。

【副市長】

- 第4次総合計画は総花的なところに当時は意義があったが、今回の総合計画・総合戦略は5年間、10年間に絞ったものである。
- コンサルをほとんど使わず職員が真剣に考え創り上げたことに自負をもってほしい。

【市長】

- 主体者、当事者として、客観的かつ能動的に取り組んでほしい。
- 「幸せデザイン大東」の「デザイン」の意味は、創り上げていくという動詞でもある。幸せを構築していくという意味である。
- 過去に戻ることや変えることもできない。今進んでいることをより良いものにするこ
とで、過去を良いものにしていける。
- 携われたことへの喜びや実現していくことの達成感を市民、職員が共有できるよ
うにしていきたい。

【副市長】

- それでは、本日の審議について確認する。
- 大東市総合計画及び大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定案については
ただいま説明のあったとおり、「第5次大東市総合計画」及び「第2期大東市まち・
ひと・しごと創生総合戦略」として決定し、これをもって令和3年3月議会に提案す
るということによろしいか。

《一同了承》

【副市長】

- 以上で本日の審議は終了し、会議を閉会する。

(以上)